

令和4年度 延岡市立南方小学校 学校評価書

1 期 日

令和5年3月3日（金）

2 出席者

- 松田 満男 延岡市市議会議員
- 峯田 克明 延岡市市議会議員
- 芥 美奈子 主任児童委員
- 隈江 薫 NPO法人SUNクラブひまわり園長
- 城戸 勇司 西階中学校 校長
- 柳瀬 智文 南方小学校 校長
- 須見 かおる 西階中学校 教頭
- 神井 英樹 南方小学校 教頭

3 資料

- 保護者による学校評価アンケート結果
- 学力テスト結果の概要
- アンケート結果をもとにした考察

4 自己評価

(1) 「学校に関すること」について

- アンケートに保護者の86%が回答を寄せてくださったことから、学校への関心と期待が高いと言える。全体的にたいへん好意的な評価をいただいている。これまでも児童の生活面・安全面での意見をいただいたことがあるが、不条理な内容ではなかった。今後も、保護者や地域の方からの声に耳を傾けるとともに進んで情報発信を行い、児童が安心して学習できる環境づくりに努めていきたい。
- 保護者自身についてのアンケートでも同様の結果が出ているが、子どもの読書習慣が定着していない（昨年からの課題）学級で読書の時間を設定したり家庭での読書を呼びかけたりしているがなかなか効果は上がっていない。これは、タブレット普及の影響も大きいと考えられる。国語の授業での読書指導やPTAによる朝の読み聞かせなどを通して本の良さを児童の感性に響かせられるよう引き続き啓発を進めていきたい。

<改善策>

① 読書について

- ・ 国語の授業ではもちろん、読書指導やPTAによる朝の読み聞かせ等を通して本の良さについて感性に働きかけていきたい。PTA教養部によるアウトメディアの取組に合わせて、家読（うちどく）の呼びかけをさらに進めたい。

② 学校や地域との連携について

今後も、地域の方からの声に耳を傾け、進んでコミュニケーションを取るとともに、児童が安心できる環境づくりに努めていきたい。また、学力向上への取組や学校生活の様子などについて、引き続き学校だよりや連絡メール、ホームページ、マスコミの活用などを通して発信していきたい。

(2) 「子どもに関すること」について

- アンケートから、きまりに対して意識が高い保護者が多いことが分かる。しかし、道路や団地内駐車場等での不適切な遊びなどについて地域の方から苦情が寄せられることがあった。その都度見守り指導や地域の見回りを行ったが地域の横のつながりの低さも同時に感じた。

不登校及び不登校ぎみの児童が複数おり、スクールソーシャルワーカー等の専門家と連携しながら改善に努めている。一部は改善しているが、改善していない児童も多い。不登校に関しては、保護者の協力が不可欠であると感じている。延岡市子ども保健福祉課・児童相談所との連携も進めている。

あいさつについては、以前より改善されてきたがまだまだ不十分であると感じているので、根気強くあいさつの良さに触れながら指導していきたい。

- コロナ禍ではあるが、健康的な生活ができていない児童が多いと言える。しかし、ゲームやYouTube視聴などで夜遅くまで起きているなど生活リズムが十分身に付いていない児童が見られるので、毎日の健康カードによる体調の確認やPTA教養部による年3回のアウトメディアの取組などを行っている。今後も家庭と連携しながら指導を続けていきたい。また、引き続き学校における感染対策に努めていきたい。

<改善策>

① 子どもの生活について

学校外での過ごし方については、児童への指導を続けるとともに、家庭を含めた地域全体での見守りや指導が必要であることを、あらゆる機会を通して伝えていきたい。

② 不登校・不登校ぎみの児童の指導について

学校内で対応する組織をつくるとともに、スクールソーシャルワーカーや関係機関との連携をさらに密にしていきたい。参観日などを活用し、不登校などの問題行動についての啓発を保護者に行ってほしい。

(3) 「保護者に関すること」について

- 学校の取組に対して協力的な家庭が多いと感じている。生活習慣を身に付けさせようと努力している保護者が多い。読書についての評価がこれまで同様低いので、家庭内で読書の機会を増やすよう啓発を進めたい。学校からの連絡をメールで行うことが多いが、これに関しても多くの保護者が確認していることが分かる。学校ホームページについては、昨年度よりもポイントが下がっている。昨年は1日平均300~350名ほどが閲覧しているが、今年は250~300名と下回っている。今後も周知を進めるとともに内容の充実を図ってほしい。来年度はメールシステムを変更し、資料や写真を添付できるので同時に利用してほしい。

PTA活動参加についての評価は昨年と同じである。本年度もコロナ禍で活動がかなり制限されたが、改善点に気付くこともできた。PTA役員と相談しながら、活動内容の見直しも図ってほしい。学校納入金の集金については、作年度から銀行口座振替に移行した。安全性や保護者の負担を改善することができた。また、PTAバザー等の在り方についても検討中である。

<改善策>

① 保護者の学校教育への関わりについて

PTA三役 運営役員と相談しながら、保護者や学校の負担を減らしつつ、よりよいPTA活動内容の見直しを図ってほしい。学校納入金の集計作業については、銀行口座振替に移行し、安全

性や保護者の負担を改善することができたと考えている。また、PTAバザー等、今後のPTA活動の在り方についても検討していく。

② 学校ホームページの活用について

今後も周知を進めるとともに内容の充実を図っていききたい。本年度、学級レクリエーションがで
きななかった関係で、PTA 役員が学校の教育活動をホームページに掲載することで、保護者の意識を
高めてきた今後も工夫改善に努めていきたい。

5 学校関係者評価

(1) 「学校に関すること」について

- 学力テストの結果から、充実した指導が行われていることを感じる。今後も継続して学力を身に付けてほしい。
- 陰山メソッドの取組の成果が見られる。
- コロナウイルス感染症に伴う休業について、学校連絡メールで適切な情報が伝えられたことで混乱が起きなかった。
- 学校だよりで、保護者に寄り添った情報を提供して下さるので啓発が進んだ。
- コロナ禍の対応が難しかったと推察される。適切に対応していただいた。

(2) 「子どもに関すること」について

- 玉ねぎや芋の栽培活動で子どもたちと一緒に活動してきたが、子どもたちのリーダーシップやコミュニケーションのすばらしさを感じることができた。成長していることが嬉しく頼もしい。
- 子どものあいさつが改善していると感じる。子どもたちのあいさつの声が聞こえ始めた。
- コロナ禍に関して、子どもたちなりに不安を感じたりたり気を遣ったりしているようである。今後も、子どもたちのことを第一に考えた指導を充実させて欲しい。
- 以前から公園に多くの吸い殻が落ちている。中学生が喫煙しているのではと思われる。また、休日などに大きな音を出して車やバイクに乗っている青年の姿が見られる。小学生に悪影響が出ることを心配している。